

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 木暮 律子	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>1) 研究</p> <p>観光学を学ぶ留学生のための専門用語集の作成に向けて、これまで収集してきた観光学専門用語のデータを補充し、二字漢語の分析と漢字の読み方に関する調査を進めた。また、それらの調査をもとに、留学生に見られる誤用の傾向を探り、導入教育で用いる練習問題と例文の作成に取り組んでいる。</p> <p>2) 教育</p> <p>①課題解決型学習の実践</p> <p>「多文化共生論」の講義では、学生自身が考え、グループで課題を解決していく学習を取り入れることにより、学生の能動的な学びを引き出せるように工夫した。また、ワークシートの提出を通して、受講生の理解度をはかり、学生が持つ疑問を授業展開にも反映させるように努めた。</p> <p>②異文化コミュニケーションの実践</p> <p>「異文化コミュニケーション」の講義では、学んだことを活かす実践的な活動として、留学生と日本人学生によるグループワークを実施し、日本語弱者の立場に立った話し方・書き方のトレーニングを行った。今年度は最終課題として、文化背景の異なる人に地震に関する情報を伝える新聞記事の作成に取り組み、コミュニケーション能力の向上に努めた。</p> <p>③グループ研究の実施</p> <p>「演習Ⅰ」では、毎年グループで研究に取り組んでおり、研究テーマの設定から調査の計画・実施、報告まで学生が主体的に進めている。今年度は3グループに分かれ、「日本企業における留学生の受け入れ実態」、「原宿竹下通りにおける多言語サービス」、「日本語教室を通じた外国人同士のコミュニティづくり」というテーマでそれぞれ調査を実施した。グループ研究の成果は、共同調査報告会として春休みのゼミ合宿で発表したほか、卒業論文集に調査報告書としてまとめた。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・群馬県情報公開審議会委員・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」出演：2015年2月28日「多文化共生とコミュニケーション」、3月7日「ゼミ活動の紹介」・「外国人学生のための進学説明会」参加：日本学生支援機構(JASSO)主催の進学説明会に参加し、日本の大学に進学を希望する外国人学生に対して、本学の特色や学生生活、入試等に関する情報の提供を行った。(2014年7月12日)・『留学生生活応援ブック』の改訂：この冊子は大学生活で必要な日本語表現や高崎市の生活情報を、留学生にも理解しやすいやさしい日本語で解説したものである。ゼミ活動の一環として毎年2年生が中心となって内容の充実を図り、新入留学生に配布してきた。今年度は事務局組織の再編に伴い、学内組織の名称を一部変更する等の改訂を行った。	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>現在作成を進めている観光学を学ぶ留学生のための専門用語集を完成させ、授業のなかで実際に使用して改善点を探っていきたい。また、これまで収集してきた観光学専門用語のデータに基づき、観光学分野で使われる用語の特徴を明らかにし、論文にまとめる予定である。さらに、異文化コミュニケーションの講義で実施した課題の分析を行い、非母語話者に対する情報伝達の方法とわかりやすさの関係について探っていきたい。</p>	